



箕面小だより



箕面市立
箕面小学校
令和5年(2023年)
10月号

学校教育目標
めざす子ども像
めざす学校像

支え合い、ともに伸びゆく箕面小っ子

ともに考える子(知)、ともに高め合う子(情)、ともにやりぬく子(意)

○あいさつと笑顔であふれる学校

○思いやりと優しさが感じられる学校

○高学年が在校生の「あこがれ」の存在となる学校

○保護者・地域とともにあゆみ、信頼される学校

集う ～創立149周年にあたって～

校長 垣内 幸太

朝夕は随分涼しくなり、秋の気配を感じる事ができるようになりました。先日のオープンスクール、久しぶりに人数制限のない参観ということもあり、多くの方にご来校いただきありがとうございました。緊張気味の子どもたち、いつもより少し張り切っている先生たち、我が子をいろいろな表情で見守る保護者の方々、このひとつの教室に人が「集い」、ひとつの場を共有する空間がわたしは大好きです。

さて、来月10月16日は、箕面小学校の創立記念日です。本校は明治7年(1874年)10月16日に箕面市で最初の学校として創立され、今年で創立149周年を迎えます。いよいよ来年は150周年です。箕面小は、これまで14000人以上の卒業生を送り出してきました。その保護者の方や教職員、かかわりのある人たちを含めると、すごい数になることでしょう。この長い年月の間、多くの人たちがこの学校に集い、ひとつの空間を共有していたことを想像するだけで感慨深く感じます。そして、いまこうして自分がこの歴史の1ページにいることを不思議にも思います。

今年度に入り、150周年に向けての実行委員会が立ち上がり、箕面小学校のためにできることはないだろうか話し合いを進めています。その中で大切にしていることは、今の子どもたち、保護者の方はもちろん、地域の方やこれまでの卒業生や教職員、箕面小にかかわりのある方々、みんなにとってあらためて箕面小学校が「おらが村の学校」として、「集う」場所でありたいということです。

近々、実行委員会のホームページも立ち上がり、150周年に向けての活動が始まります。どんなことができるか、はじまるか楽しみです。このコロナ禍を乗り越え、学校があらためて人が「集う」ことのできる場となるような1年間となることを願っています。

「一つの輪 大きな力 みんなで育てた箕面小 永遠(とわ)に残そう100周年」

昨年も紹介させていただいた当時の6年生の児童が考えた言葉です。創立100周年の際に作られた記念誌の表紙をめくると、最初に飛び込んできます。50年経った現在もまったく色褪せない素敵な言葉です。歴代の子どもたち、保護者、地域の方々、教職員が一つとなり育んできたこの箕面小のバトン。わたしたちはしっかり受け取り、150周年、さらにその先に向けて歩んでまいります。今後とも、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。